

## ◆平成28年度「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」◆

WRVでは、(公財)日本鳥類保護連盟及び(公財)日本野鳥の会との共催により、平成28年度も引き続き、「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」を実施致しております。

本年度のキャンペーンに関して、当協会あてにご協賛いただきました団体(または企業)は、それぞれ以下の通りとなっております。ポスターにも既にご芳名を掲載させていただいておりますが、昨今の厳しい社会情勢や経済情勢の中、多大なるお力添えを賜わり、誠にありがとうございました。ここに、改めて深く感謝申し上げます。

### <ヒナを拾わないでキャンペーン/協賛団体リスト> (45団体:五十音順)

公益社団法人 愛知県獣医師会	公益社団法人 秋田県獣医師会
公益社団法人 石川県獣医師会	イソップ薬品 株式会社
公益社団法人 茨城県獣医師会	一般社団法人 岩手県獣医師会
おおくぼ動物病院	公益社団法人 大阪市獣医師会
公益社団法人 大阪府獣医師会	大宮国際動物専門学校
公益社団法人 北九州市獣医師会	公益社団法人 岐阜県獣医師会
公益社団法人 京都市獣医師会	公益社団法人 京都府獣医師会
株式会社 キリカン洋行	公益社団法人 神戸市獣医師会
国際動物専門学校	公益社団法人 滋賀県獣医師会
公益社団法人 静岡県獣医師会	NPO 法人 自然環境アカデミー
全国愛鳥教育研究会	高尾霊園犬猫墓地
東京環境工科専門学校	公益社団法人 東京都獣医師会
公益社団法人 栃木県獣医師会	中津動物病院
公益社団法人 名古屋市獣医師会	公益社団法人 新潟県獣医師会
新妻動物病院	公益社団法人 日本獣医師会
公益社団法人 日本動物病院協会	一般社団法人 兵庫県獣医師会
文永堂出版 株式会社	公益社団法人 北海道獣医師会
公益社団法人 三重県獣医師会	一般社団法人 宮崎県獣医師会
武蔵村山ペットメモリアルパーク	ムナテックス 株式会社
森久保薬品 株式会社	野生動物ボランティアセンター
野生動物リハビリテーター協会	公益社団法人 山口県獣医師会
公益社団法人 横浜市獣医師会	株式会社 吉元
公益社団法人 和歌山県獣医師会	

会員の皆様には、前号のニュースレターとともに既にポスターをお送りさせていただきましたが、本キャンペーンの主旨をお汲み取りいただき、今後ともその普及啓発のためにご協力いただければ幸いです。

# 見つけてもそのままに!

# ヒナを拾わないで!!

近くには親鳥がいるから、だいじょうぶ。

みまもって、野鳥の子をだて

ヒナを見つけ、放っておけないと判断された場合は、各都道府県の鳥獣保護担当部署にご連絡ください。

**私たちが応援しています!**

(株)アシスト わんわん倶楽部 アトム(株) 学研グループ 株木建設(株) サントリーホールディングス(株) (株)真如苑 東亜建設工業(株) 橋本興(株) ニコンイメージングジャパン(株) ベッスイパンシ 丸和油脂(株) 三養製紙(株) 光村印刷(株) 森ビル(株) (株)ユーキャン (株)ラモードヨシダ リコーリース(株) 土浦大不動産 大聖寺(株) フジナガ ムナテックス(株) (株)メル ハク島倶楽部 (株)リビエラリゾート

(公社)愛知野鳥保護協会 (公社)秋田野鳥保護協会 アルスコンサルテック(株) (公社)石川野鳥保護協会 イソップ食品(株) (公社)茨城野鳥保護協会 (一社)岩手野鳥保護協会 千葉県野鳥保護協会 おおくぼ動物病院 (公社)大宮野鳥保護協会 (公社)大宮野鳥保護協会 大宮動物専門学校 (株)カラーケインストア カロース(株) (公社)九州野鳥保護協会 (公社)熊本野鳥保護協会 (公社)徳島野鳥保護協会 (公社)新潟野鳥保護協会 新潟県鳥獣協会 (公社)山形野鳥保護協会 (公社)神奈川野鳥保護協会 鶴見光生(株) 滋賀野鳥保護協会 鳥獣保護センター(株) サカタのタネ 滋賀県 (公社)滋賀野鳥保護協会 (公社)静岡県野鳥保護協会 NPO法人自然環境アカデミー 神宮学舎 全国愛鳥教育研究会 高尾霊園大聖地 東京環境工科専門学校 (株)東京コロニー (公社)東京野鳥保護協会 (公社)徳島野鳥保護協会 鳥獣協会 富山県鳥獣保護センター 中津動物園 長野県 (公社)名古屋野鳥保護協会 (公社)新潟野鳥保護協会 新潟県動物園 (公社)山梨野鳥保護協会 (公社)山梨県野鳥保護協会 鳥獣協会 (公社)日本野鳥保護協会 日本野鳥の会鳥獣保護部 (公社)長野県鳥獣保護部 (公社)山梨野鳥保護協会 (株)シムラニ (公社)静岡県野鳥保護協会 (株)シムラニ 文化堂印刷(株) 文化堂印刷(株) (公社)ホシキウグループ(株) (公社)北海道野鳥保護協会 赤十字鳥獣保護協会 (公社)三重野鳥保護協会 (一社)宮崎野鳥保護協会 武蔵野山ベトナムリアルパーク 鳥獣保護品(株) (株)モンペル 野鳥動物ランタニセンター 野鳥動物リハビリセンター協会 山口県 (公社)山形野鳥保護協会 (株)エニバーサルカラー (公社)横浜野鳥保護協会 (公社)横浜市の協会 (株)吉光 和歌山県 (公社)和歌山野鳥保護協会

共催：(公財)日本鳥類保護連盟 #03-5378-5691 (公財)日本野鳥の会 #03-5436-2622  
NPO 法人野鳥動物救護獣医師協会 #042-629-1279

後援：環境省

イラスト：黒土直子先生 デザイン：三浦由緒 2016年

2016年度ポスター・表面

# ヒナを拾わないで!!

白濁から私たちは、ごく身近な環境で、あたり前のように野鳥たちの姿を目にする事ができます。それは何れも野原や森、あるいは山といった自然環境の豊かな場所だけではありません。住宅が軒をせらえる前や、ビルが立ち並ぶ街でも、野鳥の姿はあちこちに目撃されます。そう、野鳥たちは、私たちが暮らしている環境や空間を共有するものとして、そこに生きているのです。まるで、私たちの仲間や友だちのよう……

ただ、ここで忘れてはいけないのが、野鳥が野生動物であるということ。つまり、私たちが飼っているような犬や猫といったペットとは違い、いつも自分たちの力で生きています。だから、私たち人間の手が届かずに、真かごと相違なく生きていくべきです。

多くの野鳥は先月から夏にかけて、草木が伸びる頃などが最も多く姿を見せる。最も豊富な時期に私たちの身近な場所ですべてをします。そんな時、道ばたや公園、家の裏などで、まだ幼い感じのする野鳥のヒナを見かける事があるはず。さて、どうすればいいのでしょうか？

そのヒナの姿をよく見てみてください。親鳥と比べると羽の色があまり白っぽくありません。羽の厚みもまだ少なく、足も細く、一歩一歩歩かずに、そのまわりを這うようにするかもしれません。また、あまりうまく飛べず、たまたま飛ぶと、そのまわりをばたきながら飛ぶ様子が見られるかもしれません。親鳥がしっかりと立って歩けるようなら、それはきっと親鳥のヒナに違いありません。また、あまりうまく飛べず、たまたま飛ぶと、そのまわりをばたきながら飛ぶ様子が見られるかもしれません。

それから、皆さんにそうした野鳥のヒナを見かけた場合には、そっとしておいてあげてください。もし、そのヒナを拾って持ち帰ったりしてしまったり、親鳥から引き離されてしまったり、道に落ちて死んでしまったり、あるいは、ヒナを育てるのは、やはり親鳥が一番なのです。かたがたのヒナを育てる事は、その子鳥を育てないという事で、その子がより大切な事です。

## もしヒナがケガをしていたら？

では、同じように身近な環境でヒナを見かけたもの、ケガをしていたり、うまく飛べないなど、明らかにけがの状態であったらどうすればいいでしょうか。今度は先例とは受け止め方が少し違ってきます。ケガや異常の原因は、すぐにわからないものかもしれませんが、取りを建物や人工物で覆われているような場所であったら、おそらくそれらが何らかの悪影響を及ぼした可能性が考えられます。ですから、今まではそのままにしておくのではなく、いったん人工保護した上で、各都道府県の野鳥の会を連絡して、適切な対応を依頼してください。

また、見かけたヒナがまだほとんど羽が生えそろうておらず、立つこともできないような状態の場合は、近くに親が見つければそっと親にあげるといいでしょう。でも、親が見つからないような場合には、やはり同じように保護した上で、保護官の窓口や指定された動物病院などに連絡を入れるようにしましょう。

## 野鳥は法律で保護されています

野鳥は「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(鳥獣の保護法)」によって、国や県などからの許可を得ることなく捕まえてはいけないことになっています。例えば、近くで飛んで来たヒナを捕まえて育てようとするのは、その法律で禁止されています。また、ケガをした野鳥を助けるのならば、もちろん、元々の野鳥を手当てしてあげなければなりません。野鳥は多くまで野生動物なので、いつまでも保護を要している状態が長く続くことが多くあります。保護官の指導を受けながら育てることが必要です。保護官たちにとって、そうしてあげることが最も幸せな事から……

## スズメの「巣立ち前のヒナ」と「巣立ち直後のヒナ」

### 巣立ち前のヒナ

- ✖️ 目がきちんと開いていないこともある
- ✖️ 羽毛が生えそろうておらず、親鳥より小さく、赤黒や緑が見える状態のものもある

### 巣立ち直後のヒナ

- ✖️ 羽毛が一通り生えそろうているが、上手に飛べないこともある
- ✖️ 羽ばたいたり、親鳥を追ったりするうちに次第に飛べるようになる
- ✖️ 親鳥より尾羽が短いことも多いので、体が大きさは親鳥に近くなるが、少し小さく感じることも多い

「ヒナを拾わないで!!」キャンペーン  
公益財団法人日本鳥類保護連盟、公益財団法人日本野鳥の会、NPO 法人野鳥動物救護獣医師協会が、巣立ち直後の野鳥のヒナに出会った時の正しい対処方法を伝えることを目的として行っています。

プレゼント  
落ちていたヒナに遭遇した時の// 対応方法がもっと詳しくわかる『ヒナとの関わり方がわかるハンドブック』先着1,000名様へプレゼント!

応募事項 [1.氏名(フリガナ) 2.性別 3.郵便番号 4.住所 5.電話番号 6.メールアドレス]と「ハンドブック希望」とご記入の上、メール(nature@wbsj.org)か、FAX(03-5436-2635)か、郵便(〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル 日本野鳥の会)への関わり方がわかるハンドブック版)でお申込みください。

(公財)日本鳥類保護連盟 〒196-0012 東京都葛飾区和田3-54-5 第10号ビル3F ☎03-5378-5691  
(公財)日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル ☎03-5436-2622  
NPO 法人野鳥動物救護獣医師協会 〒190-0013 東京都川崎市幸区上野1-23-16 富士ビルビル302 ☎042-529-1279

2016年度ポスター・裏面